Application Information to Individual Patient

Reviewer：　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

（不要な部分は適宜削除する）

1．目の前の患者のPICOを確認する

P：

I：

C：

O：

疑問のカテゴリー：　治療　・　予防　・　診断　・　予後　・　病因　・　害

2．エビデンスはどのようなものか？

2-1）1本の論文について，批判的吟味の結果をまとめる

2-1-A．治療，予防のカテゴリーの場合

取り上げた論文の書誌情報

2-1-A-1．論文におけるPrimary outcomeについての効果

①Primary outcomeは何か？

②治療期間は？

③効果の大きさと，その信頼区間は？（最大効果，最小効果は？）

2-1-A-2．Primary outcomeについてのサブグループ解析の効果

2-1-A-3．論文におけるその他の outcomeについての効果

2-1-A-4．論文における副作用

2-1-B．診断のカテゴリーの場合

取り上げた論文の書誌情報

①効果の大きさと，その信頼区間（最大効果，最小効果）は？

②Reference Standardは正しい診断の代わりになるか？

□研究結果の感度，特異度は，真の値に近い　□研究結果の感度，特異度は，真の値とは異なる

③この研究の参加人数と有病割合は？　症例数＝ ，有病割合＝

2-1-C．病因，害のカテゴリーの場合

取り上げた論文の書誌情報

①調べられた要因（危険因子）は何か？（　 ）

②リスクの大きさと，その信頼区間（最大リスク，最小リスク）は？

2-1-D．臨床予測ルールClinical Prediction Ruleの場合

取り上げた論文の書誌情報

①各スコアの有病割合，発症率，リスク比RR，オッズ比ORは？（　 ）

②研究全体の有病割合，発症率は？

2-2）同じPICOの他の研究の結果はどのようなものか？

①最新のシステマティックレビュー／メタアナリシスの結果は？

書誌情報：

記載内容：

②①のシステマティックレビュー／メタアナリシスより後に発表された研究の結果は？

書誌情報：

記載内容：

③より大規模な研究の結果は？

書誌情報：

記載内容：

④その他に参考となる研究の結果は？

書誌情報：

記載内容：

2-3）診療ガイドラインでの記載はどのようなものか？

①国内の診療ガイドラインの記載

ガイドライン名：

記載内容と推奨：

②海外の診療ガイドラインの記載

ガイドライン名：

記載内容と推奨：

2-4）その他の2次資料（2次情報）での記載はどのようなものか？

①2次資料（2次情報）名：

記載内容と推奨：

②2次資料（2次情報）名：

記載内容と推奨：

3．患者の病状と周囲を取り巻く環境はどのようなものか？

3-1）患者はどのような病状か？

3-1-A．目の前の患者での治療法や診断法の効果は，その論文や情報が対象としている患者と比べて大きいか，小さいか？

考慮すべき要因：　年齢，性別，人種，病期・重症度，病理，併存疾患（合併症），既に行われている治療内容，その他の要因

論文の患者よりも　□効果が大きい　□効果は同じ　□効果が小さい　□不明

3-1-B．目の前の患者は，その治療や検査を行うことができる状態か？

□行うことができる　□行うことができない

3-1-C．患者はこれまでにどのような医療行為を受けているか？

3-2）周囲を取り巻く環境はどのようなものか？

3-2-A．その治療や検査を行うために必要となるコストはどのくらいか？

①治療や検査そのものにかかる費用はどのくらいか？

②悪い転帰をたどった場合に追加でかかる費用はどのくらいか？

3-2-B．患者の置かれた環境でその治療や検査を行うことができるか？　□できる　□できない

4．患者の意向と行動はどのようなものか？

4-1）エビデンスが扱っているアウトカムの中に，目の前の患者にとっての真のアウトカムは含まれているか？

□含まれている　□含まれていない

4-2）患者の希望は？

その治療，検査を　□希望している　□希望していない

5．医療者の臨床経験はどのようなものか？

その治療，検査を行って　□良かったという実感がある　□良かったという実感がない　□良くなかったという実感がある

　　　　　　　　　　　　　　　　□自分では見たり受けたりした経験がないので分からない

6．目の前の患者に対してどうするか？（臨床判断）

EBM実践の4要素を考えて，目の前の患者に対してどうするかを判断する

その治療，検査を　□行う　□行わない

情報の患者への適用／EBM実践の4つの要素

患者の意向と行動

エビデンス

患者の病状と周囲を取り巻く環境

臨床経験

Haynes RB, *BMJ* 2002;324:1350